

## P27a VERA による IRAS06058+2138 の水メーザー観測

Oh Chungsik(東大)、廣田朋也、本間希樹、小林秀行、他 VERA グループ (国立天文台水沢 VERA 観測所)

VERA(VLBI Exploration of Radio Astrometry) では、プロジェクトとして銀河系内の星形成領域や晩期型星にあるメーザーの年周視差と固有運動を相対 VLBI 観測を用いて測定している。本講演では VERA による IRAS06058+2138 の水メーザーのモニタリング観測の現状について報告する。

IRAS 06058+2138 は距離 2kpc にある YSO(Young Stellar Object) で、既に水メーザーとメタノールメーザーが検出されていて、NW-SE 方向の CO 分子流も観測されている。我々は 2006 年 4 月から VERA による IRAS 06058+2138 の水メーザーのモニタリング観測を行っている。IRAS 06058+2138 から  $1.22^\circ$  離れている連続波源 J0603+2159 との 2 ビーム同時観測をすることで、大気の揺らぎを打ち消し、メーザーの絶対位置測定が可能である。一般的にメーザーは分子流や YSO のディスクに分布していると考えられている。従って、メーザーの固有運動をモニタリングすると星周ガスの動きを直接調べることが可能で、星形成領域での星形成初期段階の理解を深めることができる。1 ビームの解析では 9 個のメーザー源が星から NE-SW 方向に存在していて内部運動も見えた。本講演では、水メーザーのモニタリング観測の結果を紹介するとともに、そこから議論できる水メーザーと星周ガスの関係について考察する。